

## 最新鋭の機械作業で農業に興味を

24日には、児童の見学感想文の一部が送られてきました。どの文面にも感謝の言葉が書かれていました。

6月22日、上郷小学校2年生106人が八方原にやってきました。本来は18日の予定でしたが、雨天のため延期

になったのです。関係者と相談して21日で植え終わってしまおうと

ろを無理に一枚だけ残してもらい、月曜日の見学に備えました。

2年生は事前に農業のことや、田植えのことなども勉強していました。また教えてもらう時の言葉遣いや、態度もしっかりしていました。

質問ではたくさん手が上がり、代表の何人かに答えていました。対応した杉山さんも「しっかり勉強しているのに驚いた」とのこと。農業に親しんでくれると良いですね。

### 農地の多面的機能

### 国の制度として位置づけ

平成27年4月1日に多面的機能支払交付金は、「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律」に基づいた制度となりました。これにより今後は安定的なものとなります。

従来からの行政との「協定書」は廃止となり、我々が作成した事業計画を市町が認定し、それについて我々が取り組むという形になります。

交付金が活動組織の団体である協議会から降りてきたものが、今後は国、



次々に質問の手が挙がる、杉山さんも大変。

県、市の順に降りてくることになりました。農地水環境保全向上対策協議会は名称を変更し「山口県日本型直接支払推進協議会」となり、管理業務から支援業務に主力が移ることになります。活動組織としての大きな変更点は、従来長寿命化関連の交付金と、それ以外の共同活動部分の流用は認められませんでした。計画に基づいたものであること、流用の割合が3割以下であること、活動内容が正確に把握されていること、正しく経理処理されていることなどの条件をつけた上で、認められることが分かりました。

聞いたことをメモする2年生。勉強の仕方をしっかり学んでいる。

# 事業報告もスクリーンを見ながら



配布資料とスクリーンを見ながらの事業報告、決算報告

八方原の環境を守る会定期総会を6月14日、八方原公民館で開催いたしました。会員の8割近い出席を頂きましたことに、紙面を借りまして御礼を申し上げます。

今回から活動報告には、プロジェクトを用いてプレゼンテーション形式で行いました。従来の読み上げるだけの報告とは異なり、記録の写真などを見ながらですので、ご理解が進んだのではないかと考えています。

今年度の長寿命化の活動計画の中で、二つの課題があります。一つは排水路のブロックの改修です。雑草処理で目地が傷んでいることです。もう一つはポンプ場からのパイプラインの土台が傷んでいるのでは無いかという問題です。この二つはかなり専門的な検証が必要であることから、本格的な調査を実施する予定です。

長寿命化以外では、用水路本線の水漏れの一斉改修です。コンクリートの伸縮を緩和するための部分が傷んで、大きな隙間があるところが何カ所もあります。今年度は集中的な改修を実施します。

交付金の予算額は従来通りですが、より効果的な執行に心がけます。また従来から続いている「餅つき体験」「夏祭り」の協力などの地域との連携、教育機関との連携などは、ますます活発にできるように、工夫していきたいと考えています。一層のご支援、ご協力をお願い致します。

## 綿密な計画で収穫から植え付けへ



品種が変わって刈り取りの速度も少し速まった

麦刈りから稲の植え付け、昨年とはほぼ同時になって農業者にとっては、大変な重労働が強いられました。本年はかなり余裕のある計画が立てられています。

5月の終わりに6ヘクタールの稲の植え付けを行い、6月にはいつて4日間で麦の刈り取り、刈り取りの終わった順に、トラクターで耕して水田に。18日から一斉に田植えが始まりました。

今年の麦は「せときらら」という品種でかなりの収量が期待できるとのことでしたが、どうだったでしょう。



田植えは「田植え機」だけでは無理、サポートが大切

訂正いたします

先月号の小誌で紹介した新町地区の盛り土工事について、施工業者から指摘がありました。

「あの工事は道路改修に伴うものではなく、土地所有者が畑の上に新たに泥を入れて3メートルほど高くするための工事である」とのことでした。

つまり、道路改修と思つたのは、編集部の早とちりだったようです。

申し訳ありませんでした。